

常盤中だより



学校教育目標

「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



【見たことのない姿】

校長 橋本 栄



合唱コンクールには大勢の皆様に来場いただきありがとうございました。上の階からお子さんの表情を見ることができたでしょうか。あんなに真剣に指揮者をみつめ、堂々と歌っている姿は家では見せないのではないのでしょうか。親の感動は教員の比ではないかもしれません。運営に苦勞を重ねた実行委員がコンクール終了後舞台裏で涙を流していた姿も印象的でした。

日常の授業ではなかなか気づかない生徒の姿といえば、こんなこともありました。

3年生の家庭科の授業で幼稚園や保育園の幼児を招待しました。お迎えから、あいさつ、ゲーム、お見送りまで生徒が仕切ります。体育館に輪投げや魚釣りなどのゲームセンターがオープン。ファンシーショップやおもちゃ屋も開店。ペットボトルカー、アクセサリー、刀と兜、紙製ハンバーガーなどを園児が購入します。店主側も売り込み合戦、消費者を引き付けるパフォーマンスもありました。通貨は時間限り有効の常盤銀行券。その後は、だるまさんがころんだ、増え鬼などのゲームや体操でワーワーキャーキャーの大騒ぎ。一日保育士もさすがで、一緒に楽しみながらも絶えず安全に配慮している。立場に立たせるとやるものだと感じました。満面の笑みと何とも言えない優しい目。手をつなぎ案内する生徒、ひざまずいて両肩を支え話をする生徒、一緒に床に寝転がってゲームする生徒など、こんな姿は授業や部活、行事では決して見せません。

引率してくれた園の先生は、「生徒全員がとても優しい。園児にも貴重な体験です」と感心しておられました。また、別の先生は目を潤ませながら、「園児がとても喜んでいる。こんなにまでしてもらえるとは思わなかった」と心から感動していました。生徒たちの心豊かな一面を引き出してくれた園児にこそ感謝です。「子どものためにやってきた。それを子どもが心から喜んでくれる。その嬉しさをわかってもらえたと思います」というお話をしてくださいました。彼らが親になった時、この学習を思い出すことでしょう。

家では「べつに」と、何気ないことしか言わないかもしれませんが、そんなことはありません。見たことのない姿でした。

